

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 製品の特定

- a) 製品名 カワサキ純正ブレーキフルード DOT4
b) 製品分類 ブレーキ液
c) 主な用途 自動車用非鉛油系ブレーキ液

1.2 会社情報

- a) 会社名 シーシーアイ株式会社
b) 住所 〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
c) 担当部門 化成品技術部 化成品技術グループ
d) 担当者 佐藤 儀明
e) 電話番号 0575-24-6171
f) FAX 番号 0575-24-6175
g) 作成者 佐藤 儀明
h) 発行日 2009年10月27日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性		
	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性		
	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
	急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない

皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回暴露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性
	区分外
	水生環境慢性有害性
	区分外

ラベル要素

注意喚起語: 危険
危険有害性情報: 重篤な眼の損傷
 遺伝性疾患のおそれの疑い

3. 組成、成分情報

a) 単一製品・混合物の区別 混合物

b) 含有成分及び含有量⁽¹⁾

成分名	含有量 wt%	CAS No	化審法 No.	労安法 No.	PRTR 法 No.	毒劇法
ポリアルキレングリコールエーテルの ホウ酸エステル	60~65	75915-45-6	7-1420	非該当	非該当 (1種 405)	非該当
亜硝酸ナトリウム	0.1 未満	7632-00-0	1-483	非該当	非該当 (第2条別表 第2劇物)	非該当
トリエタノールアミン	0.1 未満	102-71-6	2-308	非該当 (381)	非該当	非該当

労安法 : トリエタノールアミン; 0.1%未満のため該当せず

PRTR 法 : ポリアルキレングリコールのホウ酸エステル(ホウ素及びその化合物); ホウ素として 1%未満のため、該当せず

毒劇法 : 亜硝酸ナトリウム; 含有量規定値(0.1%)以下そのため該当せず

国連分類および国連番号: 該当なし

注(1) 化審法 No: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報告示番号

労安法 No: 労働安全衛生法第 57 条の 2 第 1 項政令指定番号の政令番号

PRTR 法 No: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善に関する法律(PRTR 法)の
対象化学物質の政令番号(平成 20 年 11 月 21 日公布の改正施行令)

4. 応急措置

a) 吸入した場合

蒸気、ガスなど大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

b) 皮膚に付着した場合

- 1) 大量の水及び石鹼又は皮膚用洗剤を使用して充分に洗い落とすこと。
- 2) 外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。

c) 目に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分間以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。コンタクトレンズを着用し、容易に取れる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。

できるだけ早く医師の診断を受けること。

d) 飲み込んだ場合

多量の水または牛乳を飲ませた後、直ちに吐かせ、医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

a) 消火剤 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、水の散布、耐アルコール性泡消化剤

b) 特有の消火方法

- 1) 可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。
- 2) 消火作業は、可能な限り風上から行なう。

c) 消火を行う者の保護 適切な保護具(有機ガス用防毒マスク、手袋等)を着用する。

6. 漏出時の措置

a) 人体に対する注意事項

- 1) 作業の際には保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
- 2) 屋内で漏洩した場合は、充分に換気を行なうこと。
- 3) 風上から作業し、風下の人を退避させる。
- 4) 着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。
- 5) 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

b) 環境に対する注意事項

流出した製品が河川などに排出され、環境へ流出しないように注意する。

c) 除去方法

回収後の少量の残留分は、土砂(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよくふき取る。

少量の場合、おがくず・ウエス・砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱上及び保管上の注意

7. 1 取扱い

a) 技術的対策

火気のある場所では取扱わないこと。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等乱暴な扱いをしてはならない。

b) 局所排気・全体排気 局所排気、または全体排気のある場所で取扱う。

c) 安全取り扱い注意事項 保護手袋、保護眼鏡等の適切な保護具を着用する。

d) 適切な保管条件

温度40°C以上になる所に保管しないこと。

通気の良い場所に保管すること。

子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

a) 設備対策

1) 局所排気装置、全体排気の設備を使用する。

b) 管理濃度 規定なし

c) 保護具

1) 呼吸器用の保護具 必要に応じて防毒マスク(有機ガス用)を使用する。

2) 目の保護具 必要に応じて保護眼鏡を使用する。

3) 皮膚の保護具 必要に応じて保護手袋等を使用する。

4) その他 導電性安全靴

9. 物理的及び化学的性質

a) 外観 淡黄色透明液体

b) 臭氣 弱アミン臭

c) 沸点 283°C

d) 蒸気圧 データなし

e) 密度 1.055g/cm³(20°C)

f) pH 8.6

g) 引火点 139°C

h) 溶解性 水に可溶

i) 爆発限界 (上限)情報なし (下限)情報なし

10. 安定性及び反応性

a) 安定性 通常の状態では安定

b) 反応性 通常の状態では安定

c) 危険有害な分解生成物

燃焼性:あり

燃焼により CO など有害性ガスが発生する。

11. 有害性情報

11.1 組成物質の有害性及び暴露防止濃度基準

成分	管理濃度	ACGIH	IARC	その他の有害性
ポリアルキレンジリコールエーテルの ホウ酸エステル	設定なし	情報なし	設定なし	なし
トリエタノールアミン	設定なし	TWA 5mg/m ³	グループ3	なし

11.2 組成物質に関するその他の有害性

a) ポリアルキレンジリコールエーテルのホウ酸エステル 有用な情報なし。

b) 亜硝酸ナトリウム

1) 刺激性:目刺激 ラビット 500mg/24Hr マイルド

2) 急性毒性 ヒト経口 LD₅₀ 71mg/kg, 22mg/kg
TDL₀ 14mg/kg, 1714 μg/kg/70M

c) トリエタノールアミン

1) 刺激性 眼:強い、皮膚:強い

2) 腐食性 ウサギの剃毛した背部にこの物質の原液を 1 日 1 回・10 日間程度反復塗布した場合、塗布部位は蒼白となるのみで皮下組織でも皮下血管の一部に充血を認めるのみである。

3) 感作性 有り

- 4) 急性毒性 ラット 経口 LD₅₀ 8000mg/kg
5) 亜急性・慢性毒性 ウサギに本物質を10日間経口投与した場合、一時的な食欲低下はあったが、モノエタノールアミンまたはジエタノールアミンの場合のような症状は見られなかった。しかし解剖所見では腸管の菲薄化・膨満・出血・腎炎が認められた。ラットの90日間経口投与における無影響量は80mg/kg/Dで730mg/kgでは肝、腎などの病理組織学的変化を生じた。

- 6) 変異原性 Ames試験:陰性 染色体異常試験:陽性

11. 3 製品に対する有害性情報 有用な情報なし。

12. 環境影響情報

- a) 生分解性 有用な情報なし
b) 魚毒性 有用な情報なし
-

13. 廃棄上の注意

a) 残余廃棄物

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さない。排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律、および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

b) 汚染容器・包装

- 1) 廃棄する際は、中身を使い切って捨てること。
 - 2) 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄業者に業務委託すること。
-

14. 輸送上の注意

15. 國際規制

- 1) 国連分類 非該当
- 2) 国連番号 該当なし
- 3) 指針番号 該当なし

b) 国内規制

- 4) 陸上輸送 消防法、危険物の規制に関する規格などの輸送について定めるところに従う。
容器は、消防法、危険物の規制に関する技術上の基準に定めたものを使用する。
積載方法 運搬時の積み重ね高さは3m以下
混載禁止 第一類及び第六類の危険物及び高圧ガス
- 5) 海上輸送 船舶安全法に定めるところに従う。
- c) 航空輸送 航空法に定めるところに従う。
-

16. 適用法令

- a) 消防法 第四類 第三石油類 水溶性 危険等級Ⅲ
b) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
c) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 3.組成、成分情報に記載
-

16. その他の情報

主な引用文献

- 1) 化学物質等安全データシート(MSDS) JIS Z7250 第1部:内容及び項目の順序
- 2) 産業中毒便覧(医歯薬出版株式会社)
- 3) 13901の化学薬品(化学工業日報社)

MSDS 登録 No. 0012446-JP3

製品名 カワサキ純正ブレーキフルード DOT4

改正日 2012年12月12日

4) 危険物船舶運送及び貯蔵規則（海文堂）

5) GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

注意

製品安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。

取扱う業者はこれらを参考として、自らの責任において個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。